



富山県

No.67 2013 年 4 月

中央植物園だより



アメリカミズバショウ

春の湿原で若葉とともに萌え立つ「黄色の輝き」。

ミズバショウ属植物は、ユーラシア東部と北米西部に2種が分布し、日本で見られるミズバショウでは仏炎苞が白いのに対し、北米産のアメリカミズバショウの仏炎苞は黄色を示します。

「黄色の輝き」 撮影 / 浅野 実さん（第 15 回私の植物写真展応募作品）

今年のサクラ ‘シラユキ’



富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。2013 年は栽培品種 ‘シラユキ’ です。今年はこの品種が京都大学の小泉源一教授によって発表されてから 100 年となることから、本品種を「今年のサクラ」に選定しました。このサクラは園内のソメイヨシノ並木の西端にあり、ほぼ同時期に見頃となるので、「さくらまつり」に来園された折にはぜひご覧ください。園内のインフォメーションコーナーでは ‘シラユキ’ の植物画の絵はがき（4 枚 1 組）も販売しています。

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

第2回 さくらまつり

植物園内のソメイヨシノの開花に合わせて、様々な花を愛でる行事を行なうほか、夜にはライトアップされた見事な夜桜をご覧ください。ライトアップは午後6時頃から午後9時半までの予定です。

開 催 平成 25 年 4 月 13 日（土）～ 14 日（日）
を含む4日間

時 間 午前9時～午後9時 30 分
（入園は午後9時まで）

入園料 特別料金200円（高校生以下無料）

開催中の催し

「今年の桜・シラユキ」の植物画展

園内桜の品種ガイド とやまさくら守の会

桜のクイズラリー

ドリアスコンサート

桜の折り紙展 VITA折り紙クラブ

桜の写真展

呈茶席 婦中町茶道連盟

花苗の即売

桜の特別メニュー（喫茶室）



中央植物園のこんなところ紹介

中央植物園の中央にある桜並木の周辺を「花のpromナード」と呼んでいますが、その東側の芝生の中にある小高く盛り上がった場所が「フローラルステージ」です。ここは誰でも使えるいいの場になっており、いつもは子供たちの遊び場にもなっています。また、行事開催のための舞台としても利用され、これまで結婚式やコンサートが行われています。

ステージ上へは後方からゆるいスロープがあり、車椅子でも上ることができます。このステージが完成したのは平成 17 年秋で、日本宝くじ協会の基金によって整備されました。ステージの周囲は花壇になっていて、いつも美しい花を見ていただけるよう季節ごとに苗の植え付けなどを行っています。春はチューリップやパンジー、夏はハナスベリヒユ、秋はホウキギ（コキア）などを楽しむことができます。

フローラルステージ



いつも花が見られるフローラルステージ

植物園トピックス

富山県中央植物園開園 20 周年記念事業

今年は、平成5年 10 月 1 日に、富山県中央植物園が開園し 20 周年を迎えることから、節目の年として次のとおり記念事業を実施します。

- 1 実施日 5 月 10 日（金）
- 2 場 所 中央植物園サンライトホール等
- 3 内 容 (1) 記念式典
 - ①式典 ②記念講演 中国昆明植物研究所前園長 管開雲氏
 - ③公募により決定したサクラの新品種の名前発表 等
- (2) 記念植樹 新品種のサクラやコシノフユザクラ等サクラの植樹
- (3) 関連行事
 - ①記念誌の発行（友の会との共著）
 - ② 20 年の歩みパネル展示



名前を公募した新品種のサクラ

研究紹介◎『植物園における早春開花植物の開花時期について』 副主幹研究員 山下寿之

早春になると報道関係者などから植物の開花についての問合せが増え、例年と比べて早いか遅いかといったコメントをよく求められます。しかし富山県中央植物園ではこれまで開花時期についてまとめた資料はなく、代表的な早春の植物 10 種（フクジュソウ、サンシュユ、トサミズキ、ミツマタ、カタクリ、ハマメリス・インタメディア、マルバマンサク、キンキマメザクラ、サクラ‘ソメイヨシノ’、ウメ‘紅冬至’）を対象に開花時期をまとめてみました。もともとなるデータは、来園者に配布している「見頃の植物」に掲載されている最初の日付を開花観察日として記録し、2005 年から 2012 年までの 8 年分のデータ（一部欠測を含む）を使用しました。

ほとんどの種で年による開花の早晩が見られ、しかも早晩が同調する種類もあります。このことはこれらの植物の開花

現象が気温の影響を反映したものと考えられます。またウメの早咲き品種‘紅冬至’は対象種の中では最も早く開花した年も見られますが、年による変動も大きく、気温の影響を大きく受けることが推察されます。

サクラの‘ソメイヨシノ’とキンキマメザクラの開花時期をみると、キンキマメザクラの開花が早い年にソメイヨシノは大幅に遅れておよそ 20 日後に開花し、キンキマメザクラの開花が遅い年には約 1 週間後にソメイヨシノが開花する傾向が見られました。これはキンキマメザクラが早く咲いた年は、開花後に流入する寒気の影響を受けてソメイヨシノの開花が遅れることが推察されます。

このように植物の開花などの生物季節を継続的に調べることで、環境の変化を知ることができます。

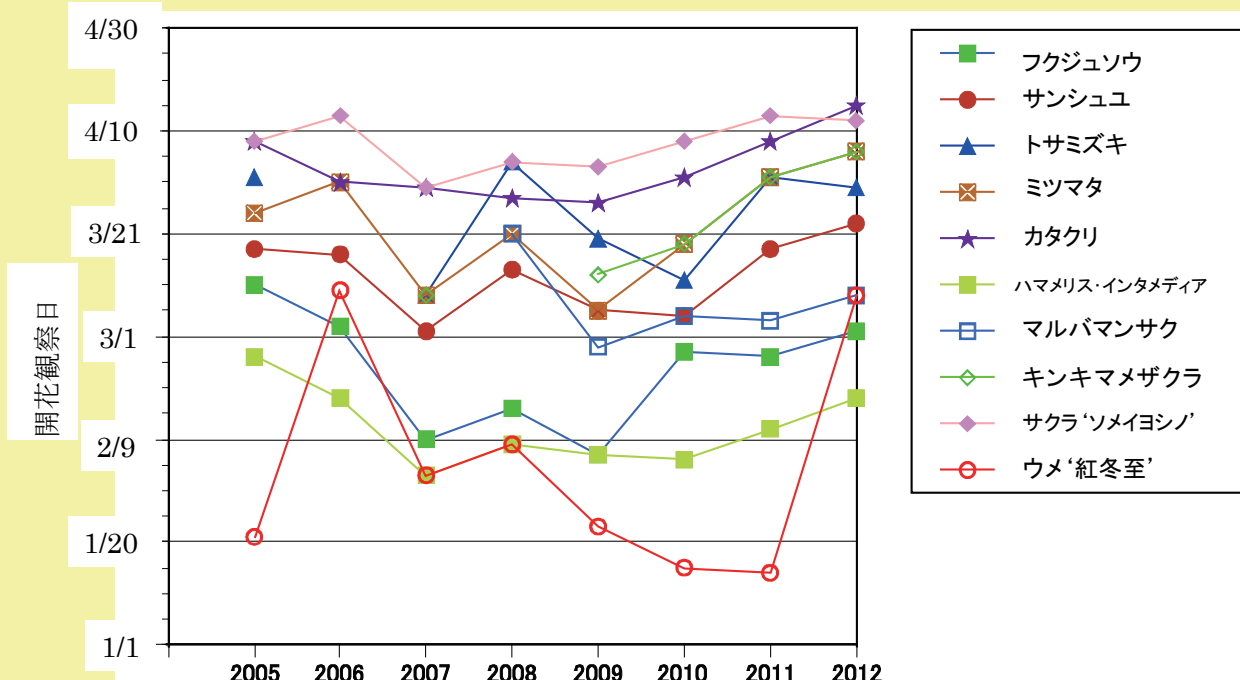


図. 早春開花植物 10 種の開花観察日の年変化

植物園の植物紹介 8

温室の植物 フクベノキ (*Crescentia cujeta* L.)

丸く大きな実の样子がヒョウタンやユウガオ（別名：フクベ）に似ていることからこの名がつけました。花は幹に直接咲くため、直径 30cm 重さ 3 kg 以上の果実でも支えることができます。実った果実の外側の硬い皮を容器、彫刻、装飾品などに利用します。若い果実はピクルスにされ、種子は調理して食用になります。北アメリカのフロリダや熱帯アメリカの原産で、現地では枝もたわむほど大きな実をたくさんつけるようです。

花は日暮れから夜に開き、翌朝にはしぼんでしまうという夜開花です。麝香（じゃこう）のような花の香りに誘われた、果実や花蜜を食するコウモリの仲間が花粉を運ぶ役目を果たします。植物園の温室にはコウモリがないため、夕方から夜ごろに人工受粉し、結実させています。開花から大きく実るまで 2 ヶ月ほどの短い時間です。実が成長するときには日増しに大きくなる様子が分かります。

見られる場所：熱帯雨林温室

栽培展示課 志内利明



幹に直接花が咲くフクベノキ



実ったフクベノキの果実

催し物のご案内

■特別行事 サンライトホール

「開園 20 周年記念式典」

5月10日（金）

「置県 130 年記念

中央植物園無料開園」

5月9日（木）～12日（日）

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

「絵本の中に咲く桜」

3月15日（金）～4月17日（水）

第 34 回「春のラン展」

5月3日（金・祝）～6日（月）

「私の植物画展」

5月12日（日）～29日（水）

「さつき展」

5月31日（金）～6月2日（日）

6月7日（金）～9日（日）

■特別開園

第2回さくらまつり

4月13日（土）～14日（日）を含む4日間

（開花状況によって変更することがあります）

特別入園料／200 円

■講座・講習会

★栽培講習会①

「ランの栽培と管理」

5月4日（土・祝）13:30～15:00

5月5日（日・祝）13:30～15:00

植物写真教室 ◆要申込

「やさしい花の撮り方」

5月12日（日）13:00～16:00

★植物画講習会 ◆要申込

5月25日（土）・26日（日）

10:00～16:00

■月例行事

緑のコンサート

第1土曜日 14:00～15:00

集合場所／サンライトホール

参加費／入園料が必要

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

毎週日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

参加費／入園料が必要

◆要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から電話・往復はがき・FAX・メール (botanic@bgty.org) で受け付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00（入園は 16:30 まで）
（11月～1月は 9:00～16:30、入園は 16:00 まで）

休園日 毎週木曜日

（4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園）
年末年始（12月28日～1月4日）

入園料 大人（一般および大学生）500 円
団体料金（20 名以上）400 円
高校生以下通年無料
冬季入園料（12月～2月）
大人（一般および大学生）300 円
団体料金（20 名以上）240 円
高校生以下通年無料
年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000 円

交通案内 JR 富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」経由速星行き（休日のみ）に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約 12 分／富山市中心部より車で約 15 分／北陸自動車道富山インターより車で約 15 分／JR 速星駅より車で約 8 分